

6 人権・同和教育

1 目標

身近な問題に気づき、自分や友達の人権を大切にしながら、仲間づくりを進めていける子を育てる。

2 努力点

- ・人権とは、すべての人間の尊厳の問題であるという起点に立ち、豊かな心情と温かい人間関係の育成に努める。
- ・「人権の問題」とは、「いのち」・「愛」・「よりよい人間関係」の問題であるとの考えから仲間作りを重視した集団作りに努める。
- ・すべての子ども達が持っている可能性を、できるだけ発揮できるように、分かりやすく楽しい授業の創造と、基礎的な学力の向上に努める。
- ・学習のつまずきやおくれ、配慮のいる児童への適切なでたと工夫に努める。
- ・保護者との連携を深めつつ、望ましい生活のあり方や学習環境の向上に努める。
- ・人権文化の創造の最終の目的は、すべての人間が持っている可能性を、できるだけ発揮できる場を作ることであり、そのため教職員の意識を高め、積極的に研修の場を設け、自己並びに相互研鑽に努める。

人権問題を考えるための視点（同和問題、女性の問題、子どもの権利、高齢者の人権、障害者の人権、外国人の人権等）

3 計画の概要

	内 容	行 事 等
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・目標や年間計画を設定する。 ・楠見懇談会にむけて取り組む。 ・実践交流する。 ・楠見ブロック人権教育研究会にむけて取り組む。 ・楠見懇談会について反省する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA楠見ブロック研修会 ・楠見ブロック人権教育研究会 （楠見西小担当） ・楠見懇談会
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生の歴史学習について研修する。 ・6年生の保護者対象に、学習会を開催する。 ・実践交流する。 ・楠見ブロック4校で社会科学習について交流を図る。 ・全保護者対象に、学習会を開催する。 ・人権学習参観と講演会をもち、保護者への啓発に努める。 ・楠見ブロック人権教育研究会に参加、提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者学級 ・楠見ブロック社会科学習交流会 ・保護者学級 ・人権講演会（楠見東小担当） （地区人権委員会共催） ・楠見ブロック人権教育研究会
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の反省と実践のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同和教育研究冊子作成

4 学年目標

1年	だれとでも仲良くできる子。
2年	力を合わせて助け合う子。
3年	相手の気持ちを考え、何事にも精いっぱいがんばる子。
4年	相手の立場に立って、やさしい心で接する子。
5年	身の回りの問題をみんなのものとしてとらえ、解決しようとする子。
6年	身の回りの不合理な事象に気づき、解決しようとする子。
なかよし	みんなと仲良く力を合わせる子。相手の気持ちを考えられる子。

5 教材例

1年	「くじらぐも」「たぬきの糸車」「のろまなローラ」(絵本) 「たろうのともだち」(絵本)「いいとこみつけ」(えがお) 「おかあさんのしごと」(えがお)「くまくんはひとりぼっち」(えがお) 「おとうさんのおおきなポケット」(ジェンダーフリーの絵本)
2年	「くまくんはひとりぼっち」(えがお)「おおきイトンとちいさいボン」(偕成社) 「たろうのともだち」(福音館書店)「スイミー」「お手紙(ふたりはともだち)」 「さっちゃんのまほうの手」(偕成社)虹色の魚(フレーベル館)
3年	「ちいちゃんのかげおくり」「モチモチの木」「わたしと小鳥とすずと」 「子どもの幸せを願って」(えがお)「わたしの名前」(えがお) 「わたしのおかあさん」(えがお)
4年	「手や指で話します」(えがお)「お父さんの仕事」(えがお) 「わたしの家のお正月」(えがお)「一つの花」「ごんぎつね」 「伝え合うということ」(国語)
5年	「大造じいさんとガン」「わらぐつの中の神様」 「公害病」(社会)「とべないホテル」(ハート社)「仲間はずし」(えがお) 「百羽の鶴」
6年	「女のくせに、男のくせに!!」「渋染め一揆」(えがお) 「慶安の御触れ書」(社会資料集)「水平社宣言」(社会資料集) 「黒人どれいに自由を」「菜の花」
なかよし	「たろうのともだち」「あなたの手のひら」 「こんなときどうする」(ソーシャル スキルカード)